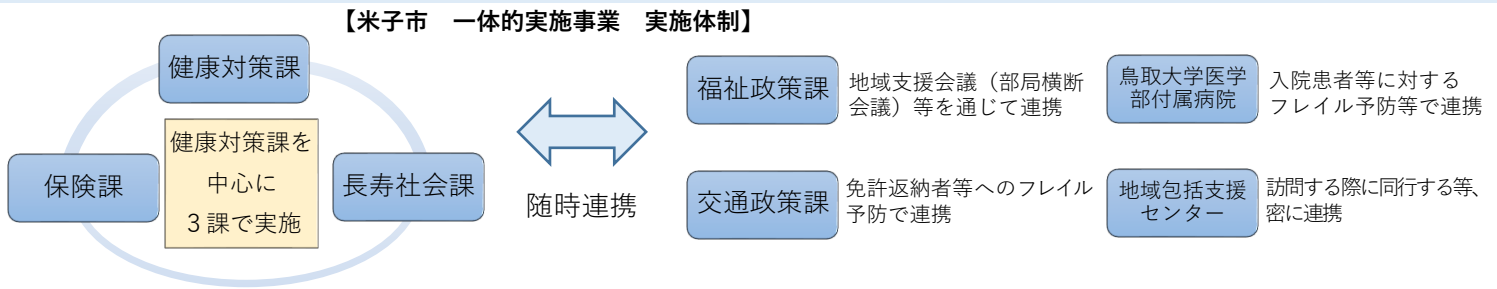


鳥取県 米子市

- 全ての圏域に地区担当保健師を配置し、高齢者の個々の健康課題に早期にアプローチできる体制づくり。
- 地区担当保健師によるきめ細かいアプローチに加え、交通政策課や大学病院等、庁内外の多様な関係機関との連携を活かしたフレイル予防事業を活用し、市民の健康寿命の延伸を目指す。

市の概況		
人口		147,205人
高齢化率		27.6%
後期被保険者数		22,656人
日常生活圏域数		11圏域



取組経緯

- 米子市の重点課題の1つに「健康寿命の延伸」があり、健康寿命を延ばし、住民が住み慣れたまちでいきいきと暮らせる地域作りを進めていくため、保健師の地区担当制を目指した。
- 令和2年度に保健師を5名採用し、市内の11圏域全てに地区担当保健師を配置。一体的実施事業が開始することと合わせて、地区の担当保健師が地域に出向き、住民の身近な場でフレイル対策に取り組み、高齢者の個々の健康課題に早期に気づき、対応できる体制ができた。

企画・調整等	ハイリスクアプローチ	ポピュレーションアプローチ
--------	------------	---------------

○企画調整担当の役割
KDB等を活用して健康課題の明確化、事業対象者の抽出等を実施している。
また、庁内外の関係機関との連携、情報共有においても中心になって進めている。

○庁内連携
事業実施にあたって課内、庁内の関係課ともに密に連携しており、月に2回の一体的実施チームの会議や、月に1回の業務連絡会（専門職会）、地域支援会議（部局横断会議）といった定期的な会議に加えて、随時事業検討及び情報共有を行っている。

- 低栄養防止**
健診結果で、BMI20以下かつ昨年度の健診時よりも体重が2キロ以上減少した者(75歳以上85歳未満)を対象に実施。
- 重症化予防**
健診結果で、要治療であったが未治療者。また、昨年度同アプローチをした者の中で再度アプローチが必要と思われる者を対象に実施。
- 健康状態不明者**
前年度対象者のうち、再度状況を確認する必要がある者（認知能力に心配がある者、自覚他覚症状あるが医療受診の無い者、所在不明者等）を対象に実施。
- 鳥大医療連携フレイル予防**
鳥大医学部附属病院が入院する者に実施するフレイル度チェック（基本チェックリスト）で、プレフレイル又はフレイルに該当した者を対象に実施。
- 免許返納者フレイル予防**
庁内交通政策課が車免許返納者等、高齢者を対象とするバス定期券割引サービス利用者に基本チェックリストを実施しており、フレイルに該当した者を対象に実施。
- ワクチン会場でのフレイル予防（うつ傾向者）**
庁内コロナワクチン接種会場で実施するフレイル度チェックの結果、フレイル該当者のうち心の健康リスクが高い者（5問中5問該当）を対象に実施。

- 健康相談、健康教育**
各地区組織会、公民館講座及びサロンに出向きフレイルの説明、健診のすすめ、その他健康教育を行った。フレイル対策の拠点を市内に2カ所設けたこともあり、自治会を巻き込んでまちぐるみでフレイルの啓発をした地区もある。
また、令和2年度から開催している「保健師の出張なんでも健康相談」を各公民館で月1回実施し、健康教育及び健康相談を実施した。健康教育及び健康相談の機会には、できるだけ運動実践する機会を設けるよう計画した。
- フレイル状態の把握**
各地区組織やサロン、保健師の出張なんでも健康相談、新型コロナワクチン集団接種会場で機会を捉え、基本チェックリストを用いてフレイル状態を把握する。
- 気軽に相談できる場作り**
地区集会所や民間事業所など住民が集まりやすい場所を開拓。百貨店のイベントにおいて、骨密度測定及び健康相談を実施。薬局訪問を行い、市の事業等を紹介。

今後の展望等

かかりつけ医・歯科医・薬局との顔が見える関係づくり
ハイリスクアプローチ等で個別の支援をする際に、地域のかかりつけ医に「この方の今後についてどう支援していくか」といった相談ができるようになるのが理想だと考えており、今後は開業医（診療所）を訪問し、関係づくりをしていきたいと考えている。